

<浦島太郎>

昔 昔 浦島は
助けた亀に 連れられて

龍宮城へ来てみれば
絵にもかけない 美しさ

乙姫様の 御馳走に
鯛やひらめの 舞踊

ただ珍しく おもしろく
月日のたつも 夢の中

遊びにあきて
気がついて
お暇乞いも そこそこに

帰る途中の楽しみは
土産に貰った 玉手箱

帰って見れば
こは いかに
もといた家も 村もなく

道に行きあう 人々は
顔も知らない 者ばかり

心細さに ふたとれば
あけてくやしき 玉手箱

中から ぱっと 白煙
たちまち太郎は
おじいさん